

1 教科の到達目標（学習のねらい、身に付けたい力）

- ・社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、我が国の言語文化を理解し、親しめるようにする。
- ・論理的に考える力や共感・想像する力を養い、社会生活の中で伝え合う力を高め、自分の考えを広げ、深める。
- ・言葉がもつ価値を認識し、言語文化を大切にし、思いや考えを伝え合う態度を養う。

2 年間学習計画と単元（内容）

学期	単元名	内 容
1 学 期	【漢字 (通年)】 【言語 (通年)】 ・広がる学びへ ・多様な視点から ・言葉と向き合う	○漢字(通年) ○文法(品詞・自立語・付属語)、敬語、言語項目(類義語・対義語・多義語、話し言葉と書き言葉、熟語の構成、同音同訓異義語) (通年) ○詩(語句・語感を磨く・表現技法・朗読) ○小説(登場人物の設定や人物像を捉え、考えたことを整理し、まとめる) ○話す聞く(プレゼンテーション・聞き取りテスト) ○古文(「枕草子」歴史的仮名遣い、作者のものの感じ方に触れ、読み味わう) ○報告文(文章の構成や図表との関係に注意して読む) ○短歌(短歌に歌われた情景や心情を想像する・語感を磨く・表現技法・創作) ○随筆(自分の知識や経験と結び付けながら、筆者の考え方に触れる)
2 学 期	・人間のきずな ・論理を捉えて ・いにしへの心を訪ねる ・価値を語る ・書写	○小説(文章の構成、場面展開、伏線と結末の関係を読み解く) ○論説文(意見を裏付けるための根拠を読み取る。文章の構成や論理展開、筆者の主張を理解する) ○書く(社会生活の中から課題を決め、根拠を明らかにして意見文を書く) ○詩(語句や表現の工夫に着目して詩の世界を想像する) ○古文(「平家物語」「徒然草」「漢詩」、作品の特徴を生かして朗読する。ものの見方や考え方を捉える) ○表論文(観点を明確にして文章を比較し、構成や表現の効果について考える) ○話す聞く(話し合いの進行、討論) ○硬筆・毛筆(楷書・行書・書き初め・名前)
3 学 期	・書写 ・表現を見つめる	○毛筆(書き初めの展示、振り返り) ○小説(人物像や表現の効果など、自分の選んだ観点で作品の魅力を捉える) ○書く(題材を自由に設定して、物語を書き、読み合い、感想や助言を伝え合う) ○一年間のまとめ、振り返り

3 評価方法

各観点	評価規準	評価方法
知識・技能	・社会生活において必要な言葉の働きを客観的に捉え、理解できる。 ・漢字・語彙・古文・文法・語句・書写についての理解を深め、知識を身に付け、活用できる。	定期考査・漢字テスト・書写作品 ・暗唱テスト等
思考・判断・表現	・社会生活における人との関わりの中で、話すこと・聞くこと・話し合うこと・書くことができる。 ・文章の要旨を論理的に把握することができる。 ・場面展開や登場人物の心情の変化を捉えることができる。	定期考査・ワークシート 作成した文章・レポート 発言・スピーチ・聞き取りテスト 等
主体的に学習に取り組む態度	・言葉がもつ価値を認識し、目的意識をもって言語活動に積極的に参加できる。 ・自己の学びを客観的に捉え、更に成長させていこうと工夫し、努めることができる。	授業態度・振り返りや自己評価 ・宿題・提出物・ワーク・発言 定期考査等

4 授業の取組についてのアドバイス

- ・忘れものをしないようにし、授業前の休み時間に教材準備をする習慣を付けよう。
- ・自分の言葉で考えをまとめ、積極的に表現し、他者へ伝えよう。
- ・友達をはじめ、身の回りの人の言葉や価値観から学び、伝え合う姿勢を大切にしよう。
- ・自分の心情や価値観の変化に気付き、言語化できるようにしよう。
- ・書き言葉と話し言葉をしっかりと区別し、丁寧かつ正確に文字や文章を書くことを心がけよう。

5 家庭学習の進め方についてのアドバイス

- ・授業で学んだことやポイントを自分の言葉で説明できるようにしよう。
- ・言葉に興味をもち、わからない言葉があったら、辞書を引く習慣を身に付けよう。
- ・わからないことはそのままにせず、遠慮せず先生に質問、相談して解決しよう。
- ・漢字練習を計画的に行い、習慣付けよう。
- ・単元が終了したら、必ずワークで復習しよう。

6 定期考査前の取組についてのアドバイス

- ・学習計画をしっかりと立てよう。
- ・前回までのテスト問題を見直して自分なりに対策を立てよう。
- ・漢字は何回も書いて、正確に覚えよう（漢字ノートや家庭学習ノートを利用する）。
- ・教科書を何度も読もう。
- ・ワークシートやノートを見直し、授業内容を理解しよう。

7 苦手な人の取組についてのアドバイス

- ・友達や周りの人の意見や言葉をよく聞き、キーワードはメモをとるなどして自分の語彙を増やそう。
- ・毎日の時間の使い方、学習計画の立て方、効果的な学習方法を模索し、自分なりのやり方を身につけていこう。友達とも、学習の工夫ややり方について情報交換して参考にするとうい。
- ・読書に取り組もう。他にも映画やアニメ鑑賞、歌詞のある音楽を聞く、観劇など、多種多様な豊かな言葉にたくさん触れ、心を豊かにしながら言葉の力を磨こう。
- ・漢字練習を習慣付けよう（都立高校入試の国語において、漢字は100点中20点と、配点が高い）。